

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 ピースリング・オブ・グアム・ジャパン
アドレス（HP、ツイッター、FB等）	http://www.mhb.co.jp/progj/
事業の名称	グアム島を中心とした戦没者御遺骨の調査及び収集事業に関するウェブ、展示会等広報活動事業
事業の目標	第二次世界大戦時、グアム島で亡くなられた1万8千人の日本人戦没者の御遺骨の存在と、収集活動、その他当法人の事業について、広報する展示会等の活動を行い、広く平和の意義を訴える
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	【概要】グアム島における御遺骨の調査及び収集についての展示及びトークイベント「若者世代で戦後80年を考えよう！」（中学生～35歳以下） 【場所】基本的な準備は、法人事務所及びウェブサイト。 展示会及びトークイベントの会場は、武蔵野プレイス、1階ギャラリー 【内容】2025年3月16日（日）10時～18時（展示会）15時～16時半（トークイベント） 2025年3月17日（月）10時～21時半（展示会）19時～21時半（トークイベント） 展示会「グアム島を中心とした御遺骨の調査・収集活動」 トークイベント「若者世代で戦後80年を考えよう！」（中学生～35歳以下） 【参加対象者】市内在住の学生、児童とその保護者、市内在住者
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	展示会 2025年3月16日（日）参加者72名 2025年3月17日（月）参加者54名 小美濃安弘武蔵野市長及び東まり子都議会議員にもお越し頂きました。 トークイベント「若者世代で戦後80年を考えよう！」 2025年3月16日（日）参加者13名 2025年3月17日（月）参加者7名 トークイベント参加者は、展示会にも参加。 展示会の運営については、当法人の理事2名ほかスタッフ3名が行った。 トークイベントは、当法人の理事1名が聞き手及び司会進行を担当した。 16日トークイベントゲスト NPO法人JYMA 学生代表 今村奎太（早稲田大学三年） 中学3年生から社会人3年目の方まで若者が13名参加し、遺骨収集の現代的な意義や、推進する方法について参加者を交えて意見交換しました 17日ゲスト 岡明日佳（上智大学大学院一年） 「記憶継承」をトークテーマに、中学生向けの平和教育や沖縄戦の記憶継承に取り組む岡明日佳さんをゲストに迎えました。高校3年生から社会人3年目の若者、アメリカからの留学生、そして若者の意見から学びたい中堅世代の大人など7名が参加して、身近にできる平和づくりや、戦争の記憶の継承方法について参加者も交えて意見交換しました。

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

目標の達成度 (自己評価)	☒ 1. 達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☐ 2. ある程度達成できた ☐ 4. 達成できなかった
自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	公益性の増進：遺骨収集及び慰霊巡拝に関する展示とトークイベントを開催し、延べ126名の参加者を得て、広報啓発に努めることができた。 発展性について：展示については、高齢者はもちろん、トークイベントでは、中高生から十代、二十代の参加者に活発な議論をしてもらうことができた。今後のご遺骨の収容に向けた活動の活性化につなげることができた。 実効性について：予算とスケジュールに沿った形で進行できた。 補助金を除く資金調達の達成度：補助金を除き、スタッフは自己負担により活動している。戦没者遺骨収集及び慰霊巡拝とそのための広報事業は、それ自体では収益が見込めない内容である。
今後の課題・抱負	戦没者遺骨収集事業及び慰霊巡拝事業は、それ自体では収益が見込めず、他からの資金投入が必要となる事業である。補助事業によるサポートを受けながら、認定NPOとなるための準備を進め、次年度以降に申請することを計画し、また、新たな資金獲得方法としてのクラウドファンディングの利用など資金調達のため取り組みも検討し、実施していきたい。
活動状況について	